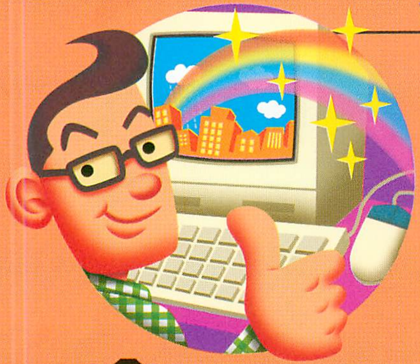


Wednesday

1 WEEK MASTER
3rd DAY !!!

今日マスターすること

TODAY'S GOAL !!!

ベジェと描画



STEP 1 ○ ••（自由な形を作り出す

STEP 2 ○ ••（新しい描画ツールで気軽にイラスト作成

STEP 3 ○ ••（色について

1 WEEK MASTER
3rd DAY !!!
Wednesday

STEP 1 自由な形を作り出す

今日学習すること

これまでは長方形や星形といった、あらかじめツールが用意されている図形を描いてきましたが、今日は、自分で好きな形を作る練習をしてみましょう。そのためにいくつかの描画ツールの使い方を覚えてください。

今日学習する内容は以下の通り。

(1) ペンツールで自由に描く

操作的には一番難しく感じるかもしれませんが、実際の仕事では欠かせないツールです。ここで基本をしっかり覚えてください。

(2) ブラシツールの使い方

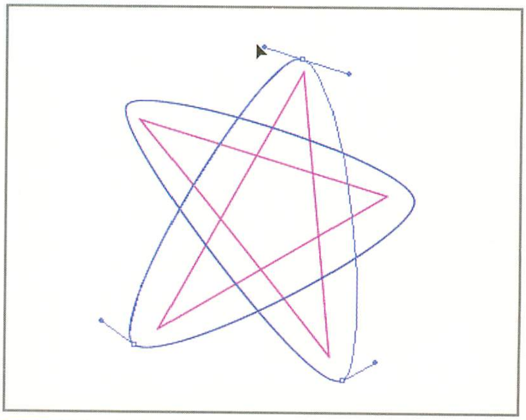
このバージョンになってからブラシツールの使い勝手が大幅に良くなりました。筆文字のかすれた感じなども表現できるし、使っていて楽しくなるツールです。

(3) 鉛筆ツールとその関連ツールを使う

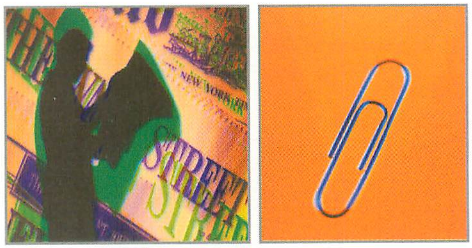
鉛筆ツールも補足的なツールが登場したおかげで、これまでより使いやすくなっています。



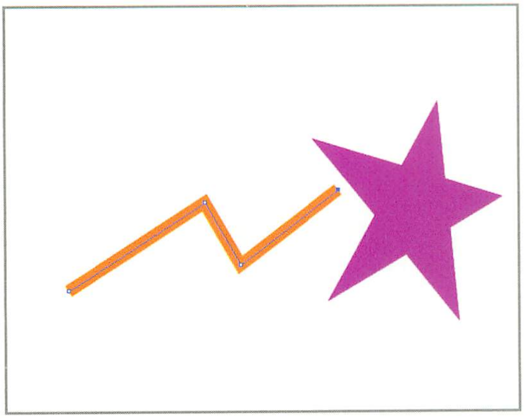
1 ペンツール、ブラシツール、鉛筆ツールは、自由なラインを作るためのツールです。



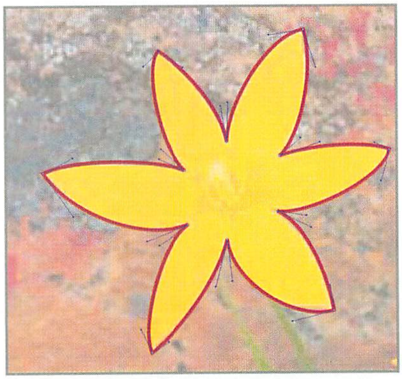
2 直線、曲線の練習をし、2種類の星を作ってみます。



▲トレース練習用の写真データもCD-ROMに用意しましたので、チャレンジしてください。



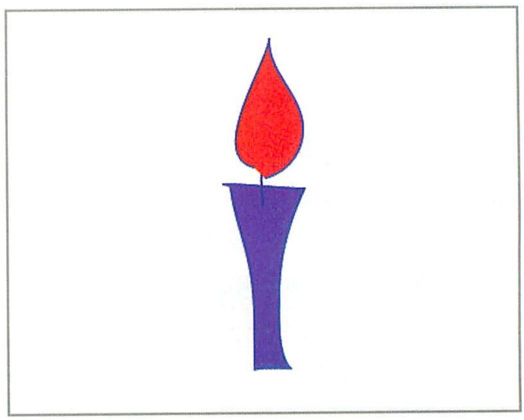
3 ペンツールは自由なラインで図形を作ることができます。



4 ペンツールはまた、下絵のトレースをするときに欠かせないツールです。



5 ブラシツールでこんな手描きタッチのラインが作れるのです。



6 鉛筆ツールは、描いたり消したりが実に簡単。手軽に使える描画ツールです。

自由に直線を描く→ペンツールでクリック

ペンツールではアンカーポイント（以下ポイントと呼びます）の置き方が大事になってきます。1本のまっすぐな線は、2つのポイントを置くことで作成できます。ぎざぎざした線は、方向が変わるごとにポイントを置くことで作れます。

ここがポイント!!

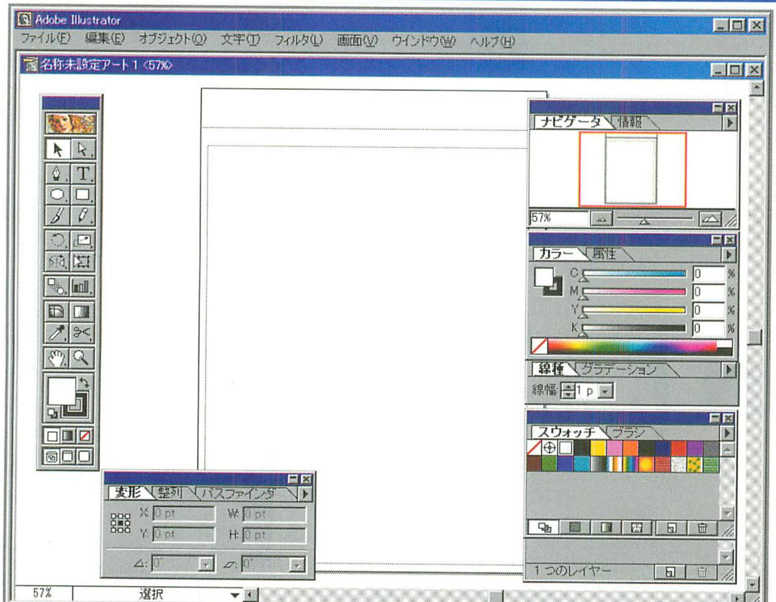
ペンツールで直線を作る

まずはドラッグしないこと。これが鉄則です。クリックしてポイントを置きながら直線を作ります。ドラッグしてしまうと、曲線を描く意味になってしまうので気を付けてください。間違ってドラッグしてしまったら、Ctrlキー＋Zで元に戻って、やり直してください。

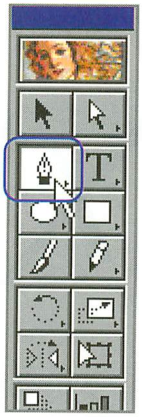
ここがポイント!!

間違ったときはCtrlキー＋Z

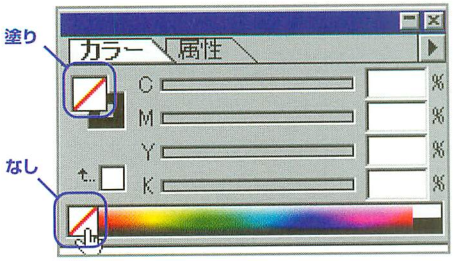
ポイントの位置が気に入らなかったり、やり直しをしたい場合は、必ずCtrlキー＋Zで1つ前の状態に戻ってからやり直してください。よくあちこちクリックしてたくさんポイントを作ってしまう人がいますが、これだとますます線がこんがらがってしまいます。「あら、失敗」と思ったら、すぐにCtrlキー＋Zの癖を付けてください。Ctrlキー＋Zは「編集」メニューの一番上に用意されているコマンドと同じですが、絶対にショートカットを、しかも左手だけで行うようにしてください。そうすれば、マウスの位置はそのままでいられるでしょ。Illustratorで描画するときは、なるべくマウスは描画位置を離れない方がいいですよ。その方が描きやすいですから。



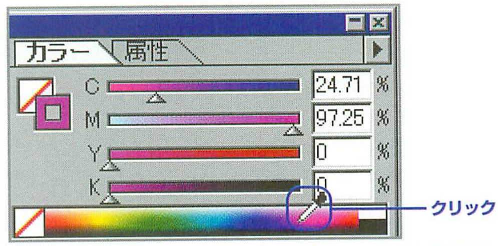
1 「ファイル」メニューの「新規」（Ctrlキー＋N）で新しい画面を出してください。



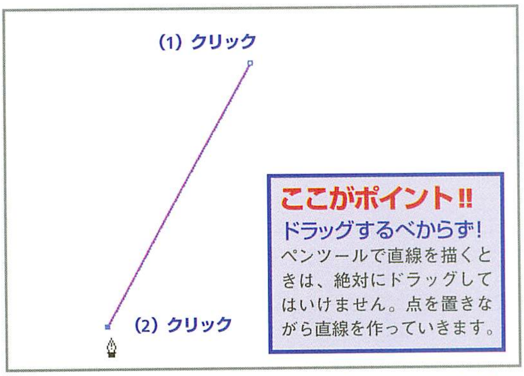
2 ツールボックスからペンツールをクリックして選びます。



3 塗りに色がついていると、描く途中でいちいち図形に塗りが入り、描画線がわかりにくくなるので、ここでは塗りは透明にしておきましょう。ツールボックス、またはカラーパレットの「塗り」をクリックして、「なし」をクリックします。



4 線の色は好きな色を選んでください。あまり淡い色だとわかりにくいので、少し濃い色にしましょう。ツールボックス、またはカラーパレットの「線」をクリックして、カラーバーから適当な色を選びます。

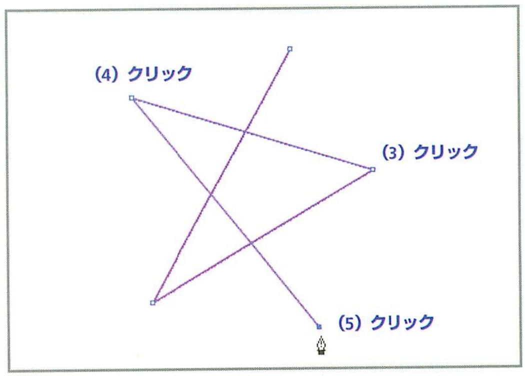


ここがポイント!!

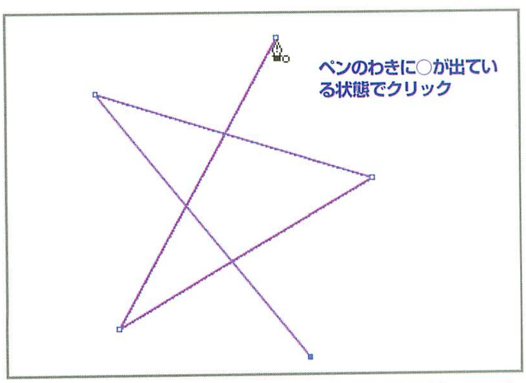
ドラッグするべからず!

ペンツールで直線を描くときは、絶対にドラッグしてはいけません。点を置きながら直線を作っていきます。

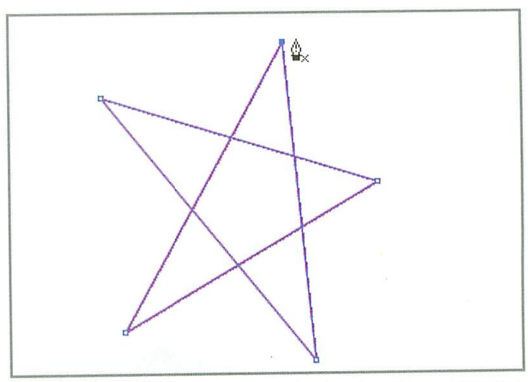
5 ペンツールで星を描いてみましょう。こんな感じで点をクリックしてください。



6 続けてリズミカルにクリックします。途中で失敗したら、すぐにCtrlキー＋Zで元の状態に戻り、やり直してください。



7 最後は元の位置に戻ってクリックをしますが、このときのポインタの形に注意。ペンのわきに○が出たら、元の位置にぴったり重なっているという合図です。この状態になってから、クリックしてください。



8 これで完了しました。するとペンのわきに×が出ています。これは、現在どこのポイントとも重なっていませんという合図です。

自由に曲線を描く→ペンツールでドラッグ

さあ、いよいよ曲線の作り方です。これがうまくいかずにIllustratorを嫌いになっちゃう人ってとても多いと思います。でも、思い通りの線を作るためのもっともシンプルなツールです。慣れるとスピーディーにきれいなラインを作り出すことのできるツールになってくれるのです。慣れるには練習あるのみ。

☞ヒント!!

マウス以外にも便利な道具がある

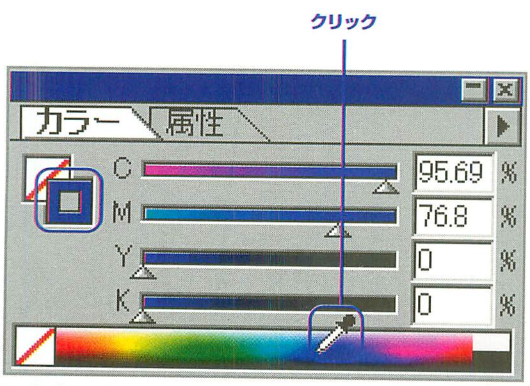
イラストなどを描く人にとっても、ペンツールは便利なツールです。もっと感覚的に描くには、マウスよりも筆圧感知ペン＆タブレットがいいかもしれません。IllustratorはWACOMなどのメーカーのタブレットに対応しています（11ページ参照）。

ここがポイント!!

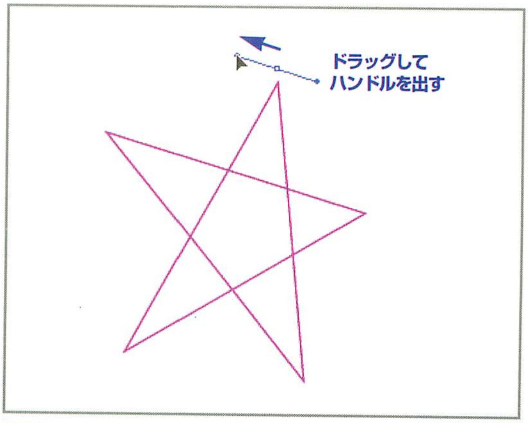
ペンツールで曲線を描く

ハンドルを出すこと！　これが曲線の描き方のポイントです。ハンドルとは、曲がり具合をコントロールするためのものです。これがないと直線になります。ハンドルを出すためには、ドラッグしますが、次に重要なのはドラッグする方向です。曲線はハンドルの方向に引っ張られます。だから、次のカーブの方向へハンドルを出しておく必要があります。それからハンドルの長さも関係してきます。ハンドルが長いほど、カーブが大きくなります。直線に近いようなカーブの場合は、ハンドルは短くていいのです。

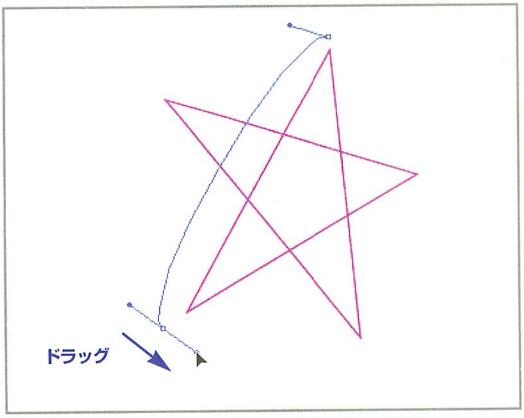
- **ドラッグしてハンドルを出す**
- **ドラッグの方向は進行方向（次のカーブの方向）**
- **ハンドルがないと直線になる。ハンドルが長く出ているほどカーブが大きくなる**



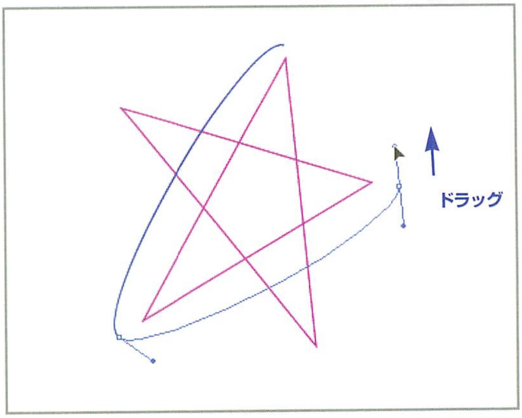
1 先ほどの星の選択を解除してから、カラーパレットの「線」アイコンをクリックして、適当な色を選びます。



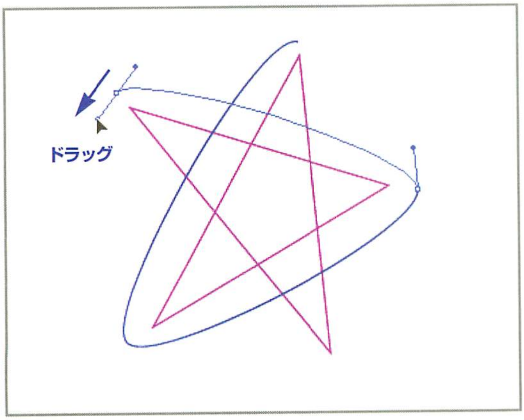
2 先ほど描いた直線の星の少し外側に、曲線で星を描いてみましょう。ポイントそのものは直線の星と同じ位置です。ペンツールでクリックして、ポイントから必ずドラッグしてハンドルを出します。



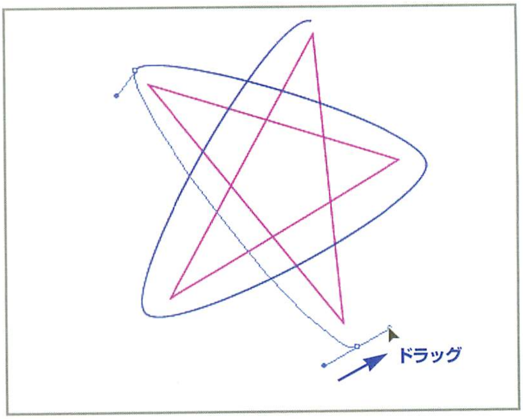
3 2点目をクリックします。ハンドル出す方向は、進行方向側です。ここでは右下へドラッグします。



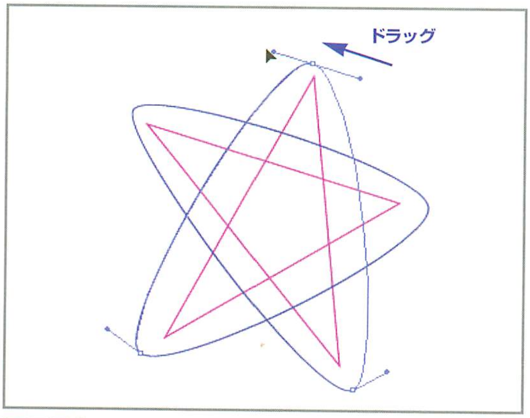
4 次の位置では、上方向にドラッグしてハンドルを出します。



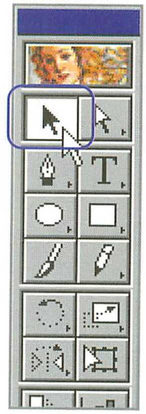
5 左下方向にドラッグします。



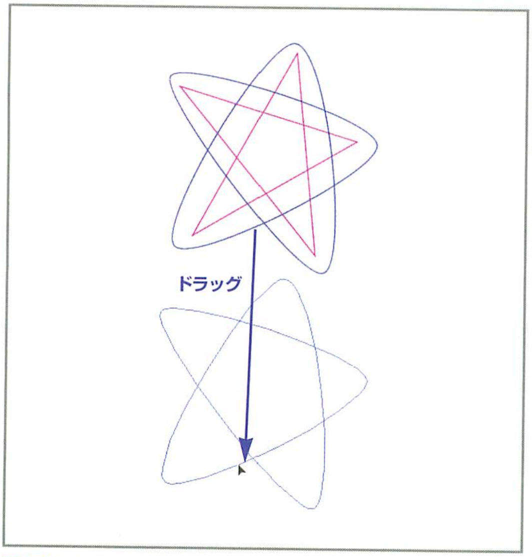
6 ここでは右上方向にドラッグします。



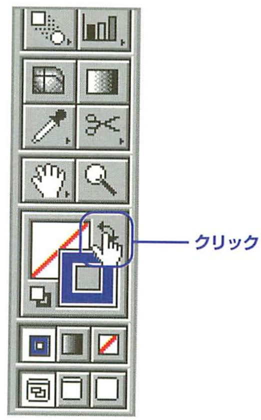
7 最後は元の位置に戻って、ペンのわきに○が表示されている状態で、左方向にドラッグします。これで完成です。



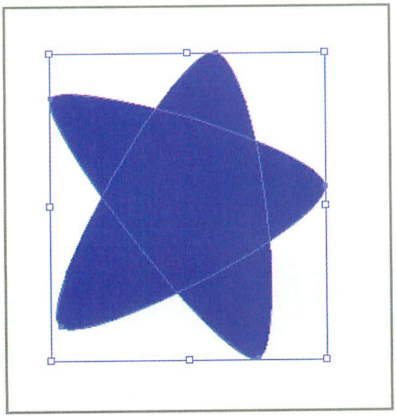
8 では、いま描いた星をずらしてみましょう。ツールボックスから選択ツールを選びます。



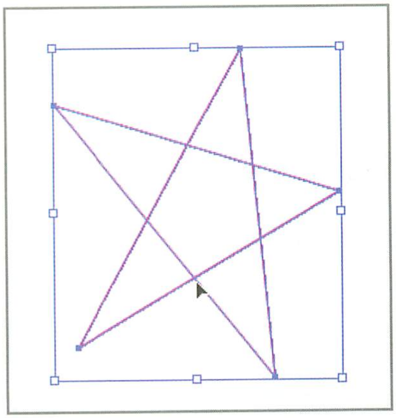
9 選択ツールで、曲線の方の星を選択して（線の部分をうまくつかんでください）、少し離れたところへドラッグしてください。



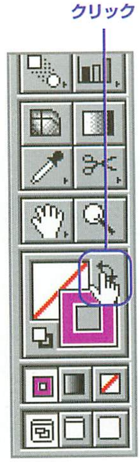
10 2つの星を比べやすくするために、色をつけてみましょう。曲線の星が選択されている状態のまま、ツールボックスの「塗りと線を入れ換え」アイコンをクリックして、線の色を塗りに入れます。



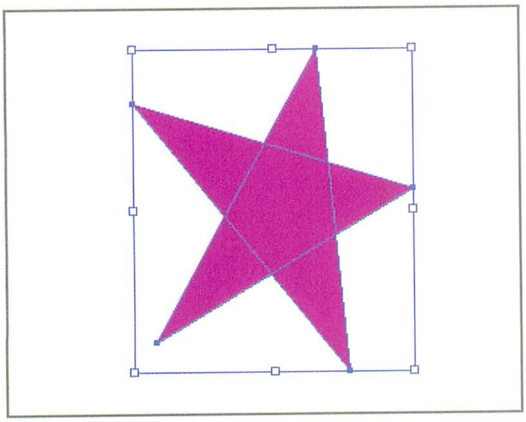
11 先ほどまで線についていた色で星が塗られました(線は透明になっています)。塗りに適当な色を入れてもよいのですが、こちらの方法が手早いですもんね。



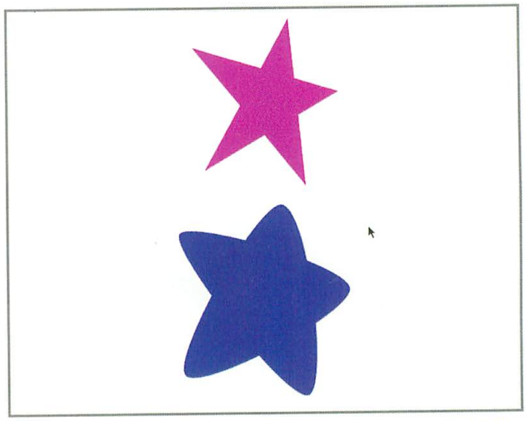
12 直線で描いた星も同様に色を入れ替えます。まず選択ツールで直線の星をクリックしてください。



13 ツールボックスの「塗りと線を入れ換え」アイコンをクリックします。

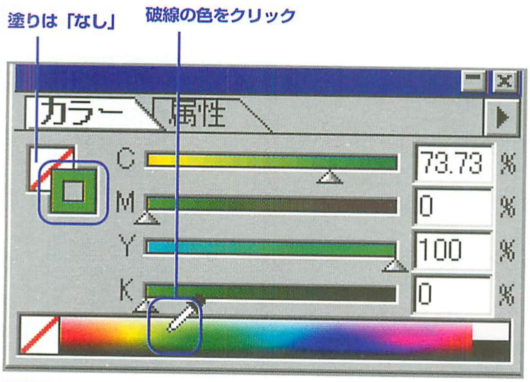


14 線の色が塗り色になります。



15 選択ツールで星以外の部分をクリックし、選択解除してください。角のシャープな直線の星と、角の丸い曲線の星の2種類ができました。

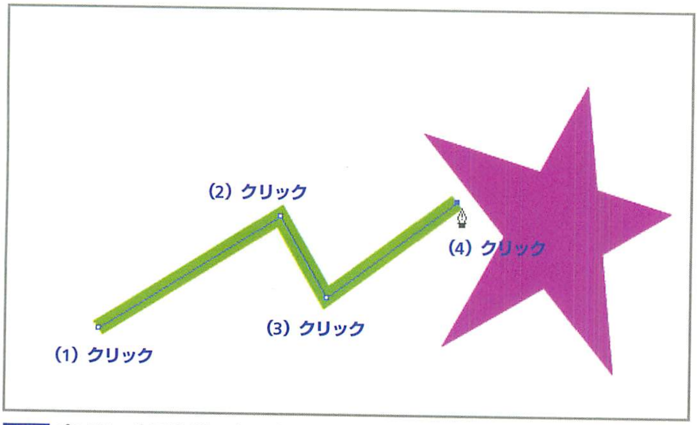
線を途中で止める→クリックして選択解除



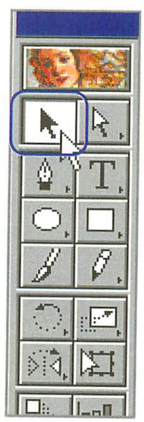
1 カラーパレットで「線」アイコンを選び、カラーバーから適当な色を選んでください。塗りは「なし」にしておきます。



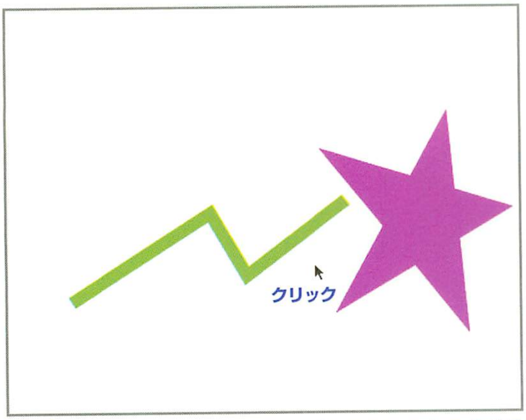
2 あらかじめ線幅を太めにしておきましょう。線種パレットの「線幅」の数値を「15pt」前後にします。数値を入力してEnterキーを押してください。



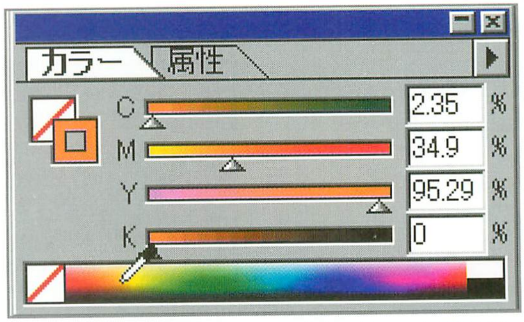
3 ペンツールでクリック、クリックと、方向の変わり目でポイントを置きながら、ぎざぎざ線を作ってください。



4 この線はここで終わりにしましょう。ツールボックスから選択ツールを選びます。



5 どこかでクリックして選択解除します。これでぎざぎざの線のできあがりです。

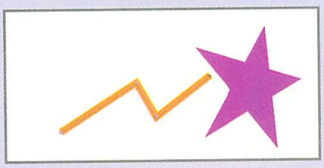


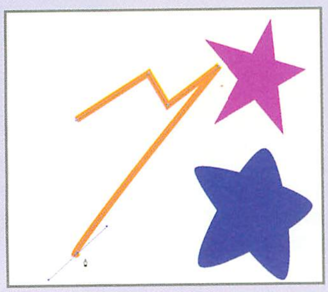
6 今度は曲線の星形に、うねうねの線をつけてみましょう。これも、まず線の色を適当に決めておきます。

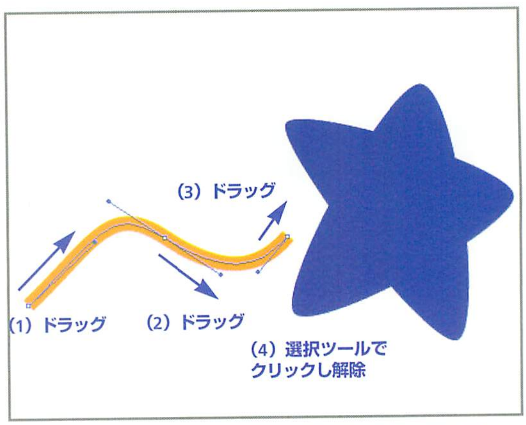
ここがポイント!!

こんな失敗が待っている

ぎざぎざの線を解除しないままで作業を続けると、ぎざぎざの線の色が変わってしまったり、さらには、次にうねうねの線を描くときにつながってしまったりします。最初はめんどうに感じられるかもしれませんが、選択解除を忘れずに行ってください。







7 ペンツールでドラッグしながら曲線を描いてみましょう。最後は、これも選択ツールでクリックして選択解除します。ここまでできたら、適当な名前で保存をしてください。

トレースの練習

今度は、下絵をトレースする練習をしましょう。実際の作業ではロゴのトレース、手描きのイラストのトレース、写真のシルエットのトレースなど、さまざまな場面で必要となってきます。ポイントの位置とハンドルの長さに気を使いながら練習してみましょう。ここでは曲線の向きが変わるごとに、ハンドルの方向を変える操作を覚えてください。

ここがポイント!!

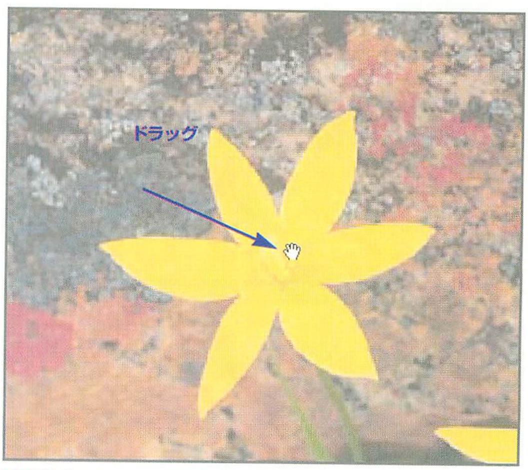
トレースをうまくやる

状況に応じてある程度変わってきますが、基本的には以下の点に注意すれば、トレースがだいぶうまくなると思いますよ。

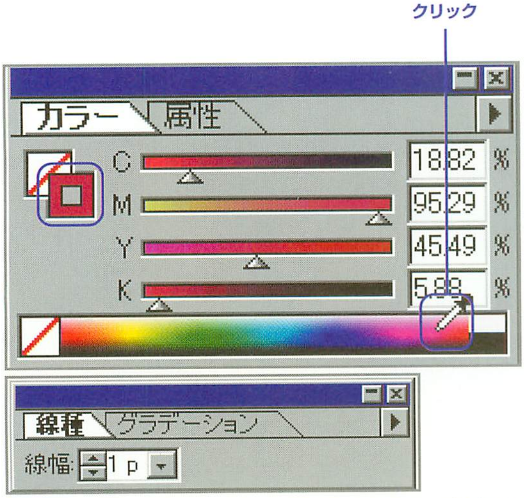
- **ポイントは方向の変わりに目に置く**
- **ハンドルは進行方向へ向かって出す**
- **ハンドルの長さが大きいほど曲線は大きくカーブする**



1 「ファイル」メニューの「開く」で、特別付録CD-ROMの水曜日フォルダにある「トレース練習（花）」というデータを開いてください。左上の花をトレースしますので、ズームツールで囲んで大きくしておきましょう。



2 ズームツールでドラッグした範囲が拡大表示されました。必要なら、手のひらツールで、花の位置をトレースしやすい位置にずらしておきましょう。



3 塗りが入って入るとトレースしにくいので、線だけを使いましょう。カラーパレットの「線」アイコンをクリックして、カラーバーから適当な色を選びます。線幅は細め（1ptくらい）にしておきましょう。

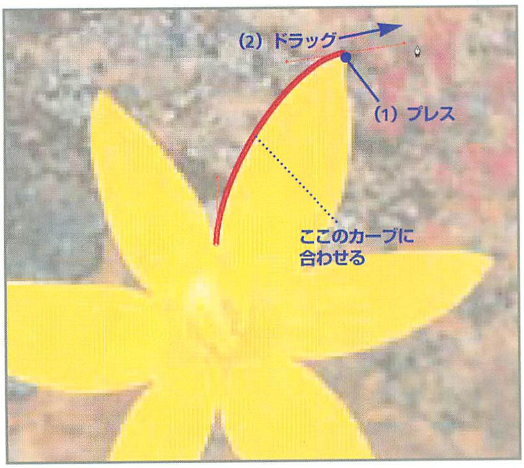


4 どこからスタートするかは自由ですが、まずは図に従って練習してみてください。ペンツールで、図の位置から上方向にドラッグします。

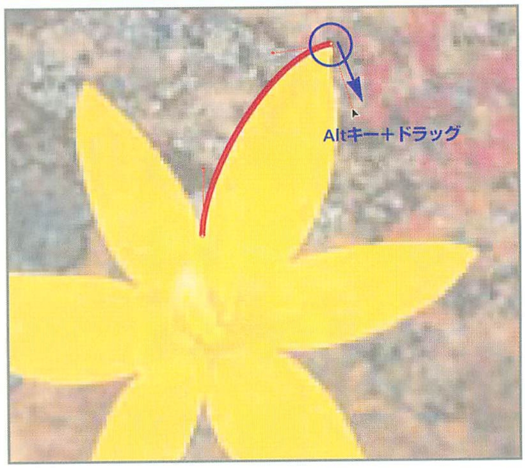
ここがポイント!!

ハンドルの方向を修正

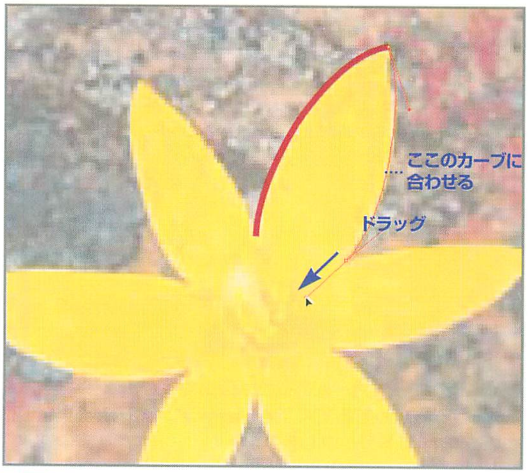
ここのステップがもっとも重要！　曲線はハンドルの方向に引っ張られます。この時点でハンドルは上方向にあります。これを下方向に修正して曲線を描くわけです。Altキーを押しながらドラッグすると、ドラッグした方向にハンドルを修正することができます。



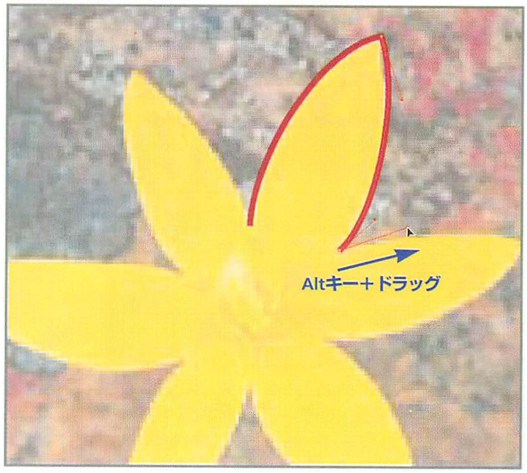
5 カーブが下絵に合うように、ハンドルを引っ張ります。



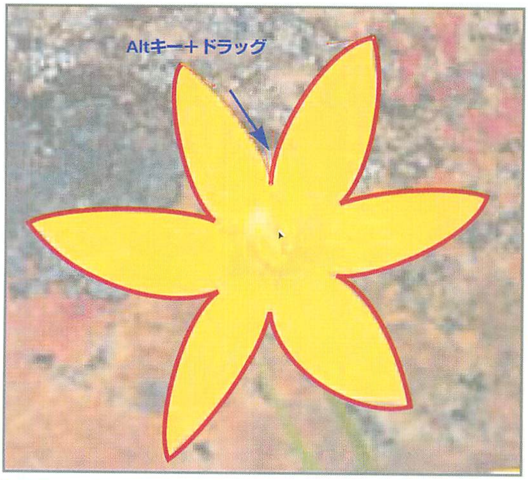
6 ここで一旦ハンドルの方向を修正します。Altキーを押すとペンツールのポインタが[アイコン]になります。そのままポイントの上に持っていくと[アイコン]になるので、そこから下方向にドラッグすると、ハンドルが下向きになります。



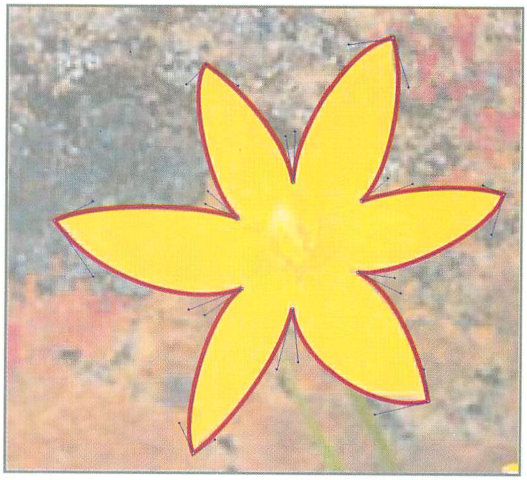
7 下絵のカーブに合うように、左下にドラッグします。多少ずれても気にせず進めてください。後ほど行いますが、簡単に修正できます。



8 ここでハンドルを、次のカーブ方向へ出るように修正します。Altキーを押しながら右へドラッグします。



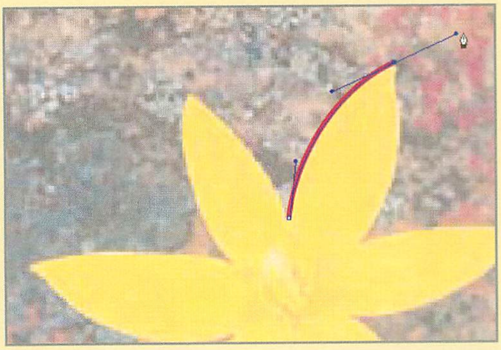
9 こうして一周します。最後のポイントでも、Altキーを押しながらドラッグしてください。



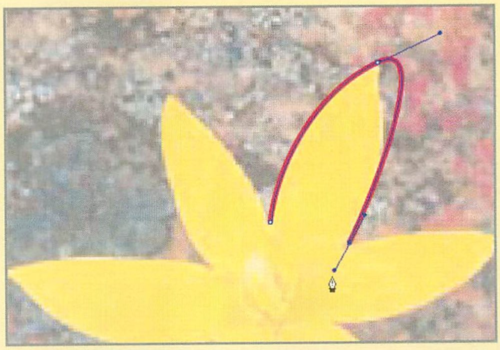
10 これが全部のハンドルを表示させた状態です。参考にしてください。下絵と合っていない部分は、これから修正していきます。

ちょっとコラム　ポイントのハンドルに注意

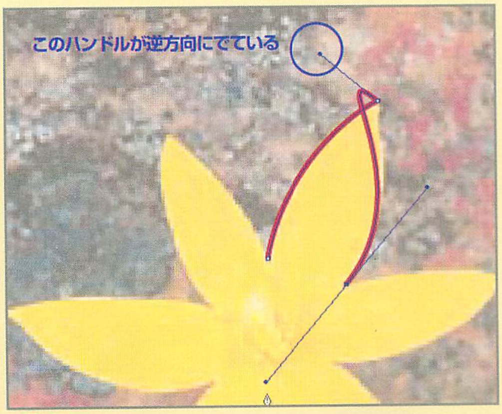
ペンツールで曲線を描くのはむずかしいですよね。でもちょっとしたところに気を使えば、ミスはずいぶん少なくなります。まずハンドルの方向と長さに注意してください。ハンドルの方向は進行方向ですが、とにかく下絵に合うような方向を探してください。曲線はハンドルの方向へ引っ張られます。どれくらい強く引っ張られるかは、ハンドルの長さによります。ハンドルが長ければ長いほど、強く引っ張られ、極端なカーブを描きます。トレースしたものを修正することも、ハンドルの意味を理解する練習になります（次のページで紹介します）。



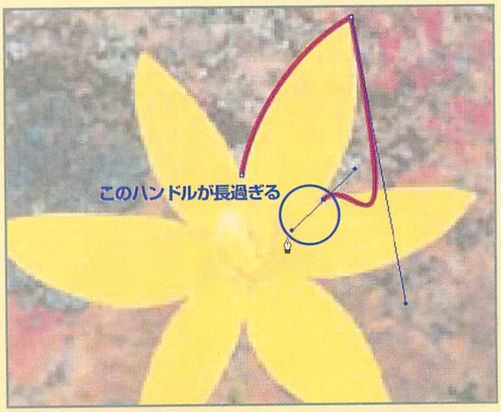
1 ハンドルは、とにかく下絵に曲線が合うように出すのがコツです。



2 方向が変わるときにAltキーを押さないと、こんな曲線になります。滑らかにつながるカーブを作るならいいのですが、この花のトレースではAltキーを使ってハンドルの方向を変えないと、下絵に合いません。



3 Altキーを使っても、ハンドルの方向が逆だと、次のカーブがねじれてしまいます。曲線は一旦ハンドルの方向へ引っ張られて、それから次のポイントへつながるのです。



4 ハンドルは、方向が正しくても長く出し過ぎると、曲線がその方向へ極端に引っ張られるので、よくありません。

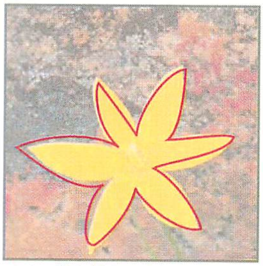
トレースの修正

トレースしたものは簡単に修正することができます。だから、一度で完璧にトレースしようなんて思う必要はないのです。修正するには、ダイレクト選択ツールを使います。ダイレクト選択ツールは、ポイントやハンドルを部分的に選択することができるので、直したいところだけを調整することができます。

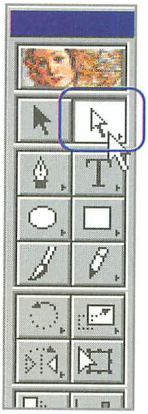
ヒント!!

トレースがうまくいかなかった人は

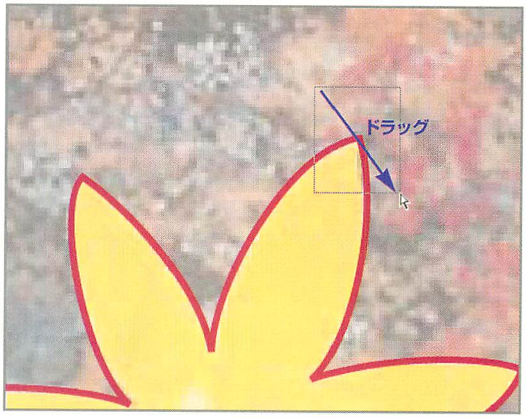
最初はトレースって本当にうまくいかないんですよね。うまくトレースできなくて、もうやめたい！と思っている人は、特別付録CD-ROMの水曜日フォルダに入って入る「トレース練習（花）修正用」というデータを開いて、修正の練習だけでも行ってください。



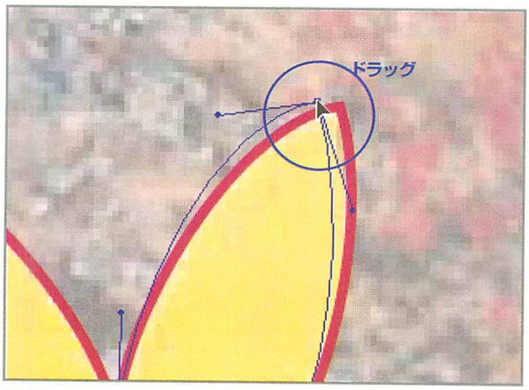
▲わざと修正が必要なようにトレースしてあります。



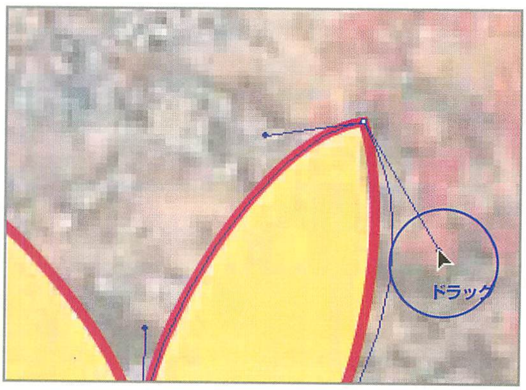
1 ツールボックスからダイレクト選択ツールを選択します。



2 修正したいポイントをドラッグします（ポイントをクリックでいいのですが、どこにポイントがあるかわからないのでドラッグしています）。



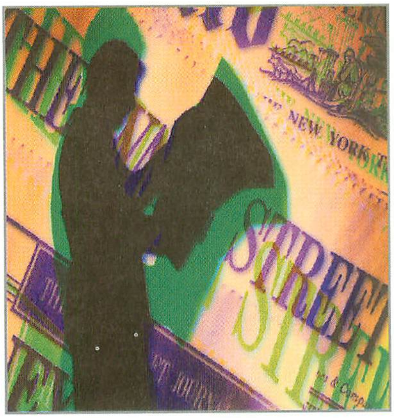
3 選択されたポイントをつかんで、位置を動かすことができます。



4 また、ポイントから出ているハンドルを調整して、曲線を変えることができます。ハンドルを調整するには、ハンドルの先端の丸い部分をつかんで動かしてください。

トレースは練習あるのみ

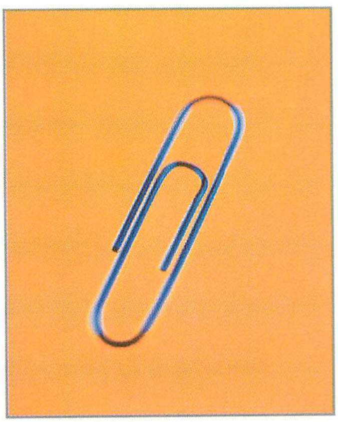
特別付録CD-ROMの水曜日フォルダには、トレースの練習用のデータが用意されています。花のトレースがうまくできたら、ほかのものにもチャレンジしてください。速くトレースできるようになるまで、繰り返し練習してくださいね。ペンツールのもっと具体的な使い方は、「2週間目のステップアップ Adobe Illustrator7.0J」でも紹介しています（バージョンは7.0Jですが、ペンツールの操作そのものは変わりありません。よろしければご活用くださいませ）。



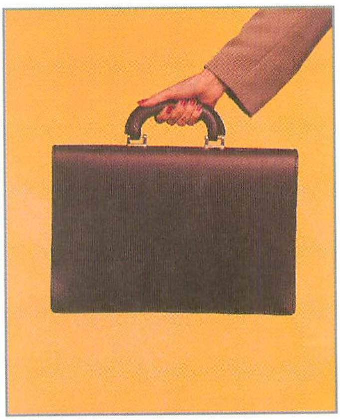
1 トレース練習の「シルエット」。



2 トレース練習の「手」。



3 トレース練習の「クリップ」。



4 トレース練習の「かばん」。

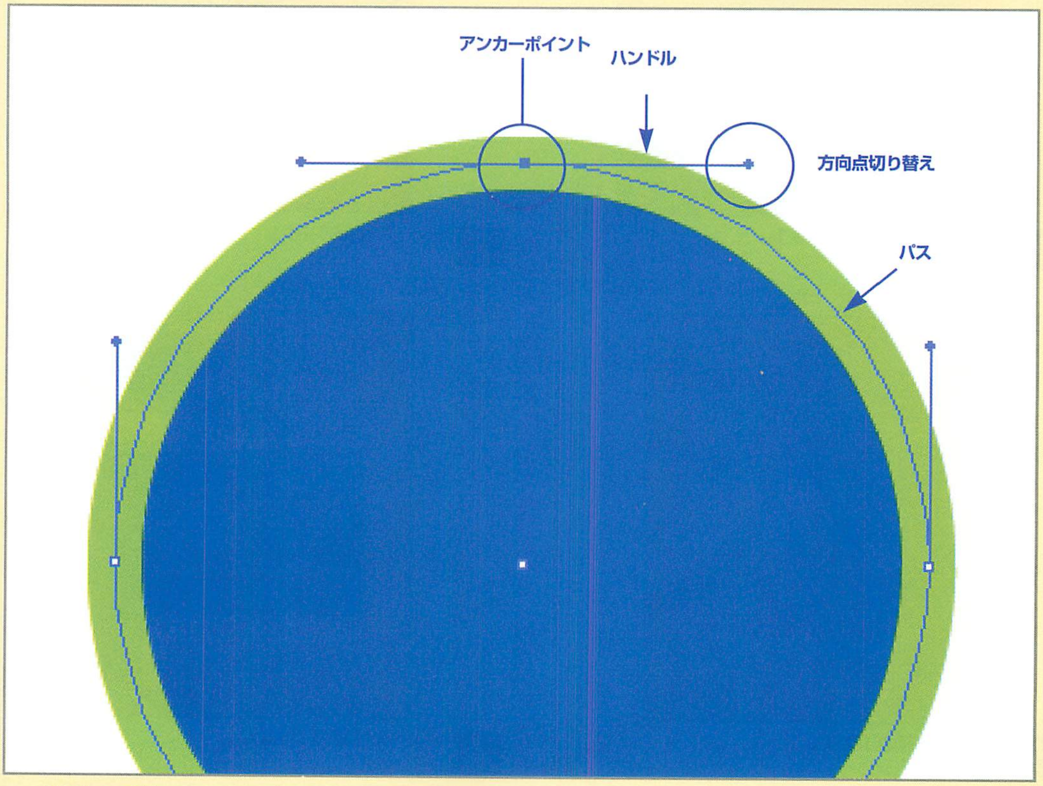
ちょっとコラム ベジェ曲線の用語

トレースで練習したのは、実はベジェ曲線といいます。これはピエール・ベジェさんというフランス人のカーデザイナーが編み出したもので、数式で曲線をなめらかに表現する方式です。ここでベジェ曲線の正確な用語を確認しておきましょう。

ペンツールで方向の変わり目などに置いていたのが「アンカーポイント」、ドラッグして引っぱり出したのが「ハンドル」（直線にはありません）でした。ハンドルの先端の丸い部分は「方向点切り替え」です。アンカーポイントとアンカーポイントの間にできる線を「パス」といいます。

選択状態のアンカーポイントは四角の中が塗りつぶされて、選択されていないアンカーポイントは四角の中が白になっています。

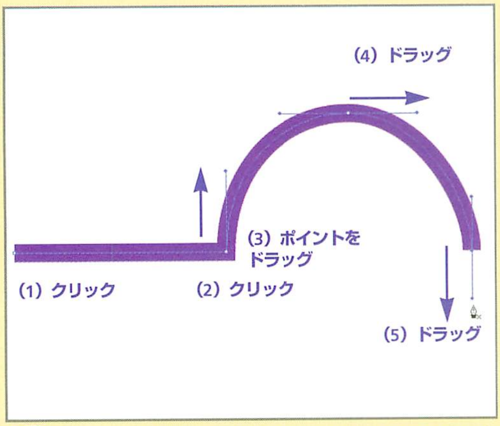
ハンドルの色はここでは水色になっていますが、レイヤーの選択カラーで指定された色になります（レイヤーについては木曜日以降に詳しく説明します）。



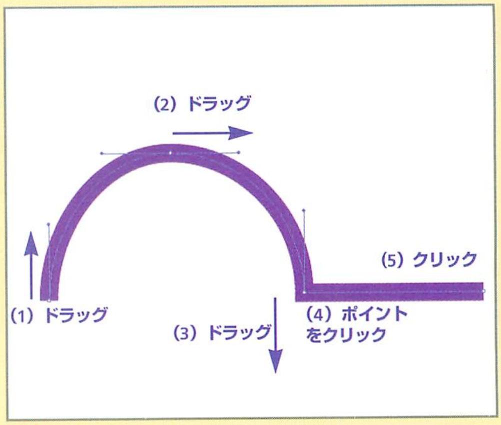
▲ 正円の一番上のアンカーポイントを選択した状態です。

ちょっとコラム　ベジェ曲線の応用

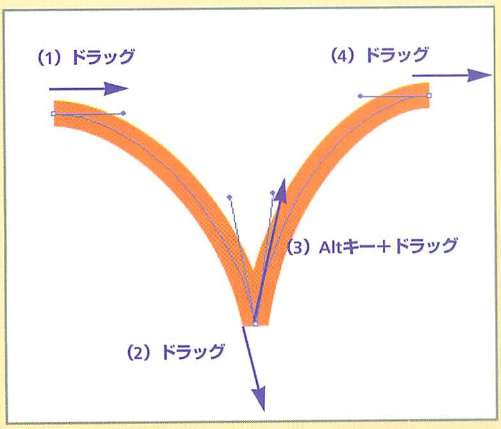
曲線と直線の組み合わせや（図1、2）、ポイントから出ているハンドルの方向が異なる場合と左右対称の場合（図3、4）など、ベジェ曲線の応用テクニックを紹介します。時間があれば練習してください。



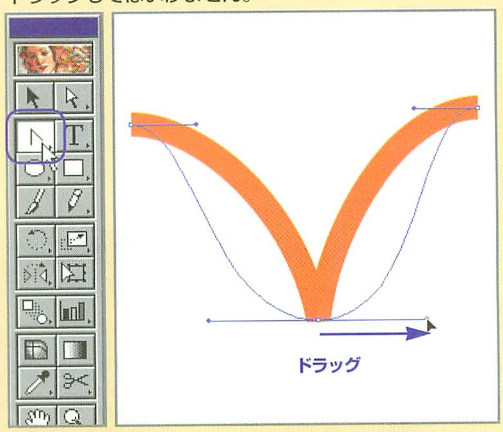
1 (2) では直線を作るため、ハンドルは出さずにクリックします。(2) から曲線につなげるためにハンドルが必要なので、(3) でポイントからドラッグしてハンドルを引っ張り出します。



2 (1) でもちゃんとハンドルを出すのを忘れないように。(3) では一旦、下方向にハンドルを出します。(4) で下向きのハンドルを削除するためにポイント上をクリックします。クリックするだけですよ。(5) へドラッグしてはいけません。



3 これは花のトレースと同じです。Altキーを押しながら、ポイントからハンドルを引っ張り出します。



4 ハンドルの方向がばらばらになっているものを、左右対称のハンドルにするには、ツールボックスの方向点切り替えツールを使って、ポイントからもう一度ハンドルを引っ張り出します。

1 WEEK MASTER 3rd DAY !!! Wednesday

STEP 2 新しい描画ツールで気軽にイラスト作成

ブラシツールと鉛筆ツール

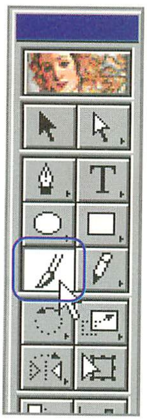
☞新機能!!

ブラシツール

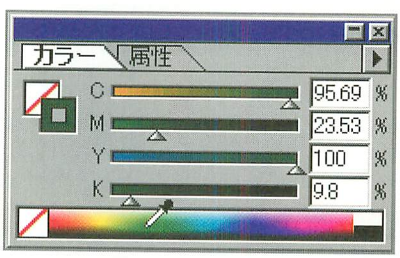
これまでは単純な楕円形のブラシしかありませんでしたが、バリエーションが増えました。カリグラフィブラシ、散布ブラシ、アートブラシ、パターンブラシの4種類は、異なるブラシ表現をしてくれます。編集も可能なこのブラシツール、新機能の中でももっとも楽しいツールです。

手軽に使える描画ツールとしてペンツールのほかにも、ブラシツールと鉛筆ツールがあります。どちらもIllustrator8.0になり機能が大幅にアップしました。ペンツールのあとは、これらのツールで遊んでみましょう。

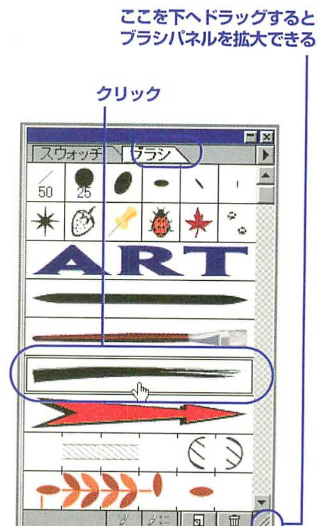
ここではラフにクリスマスカード風のイラストを作ってみます。「ファイル」メニューの「新規」で新しいウインドウを開いてください。



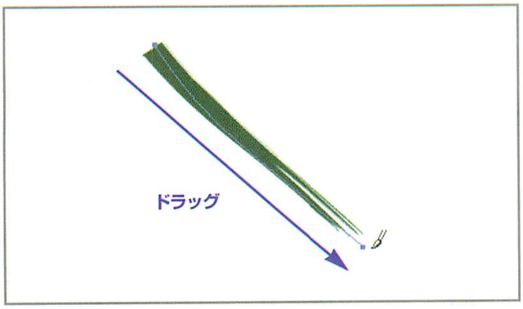
1 ツールボックスからブラシツールを選びます。



2 カラーパレットで「塗り」を透明にし、「線」の色を適当に選択してください。



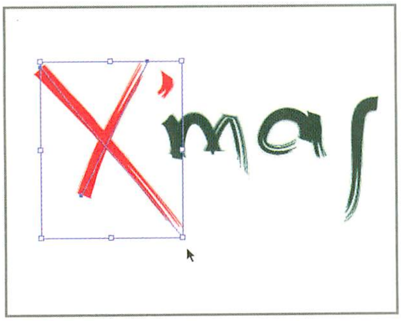
3 ブラシパレットから図と同じもの（黒いストローク）を選んでください。



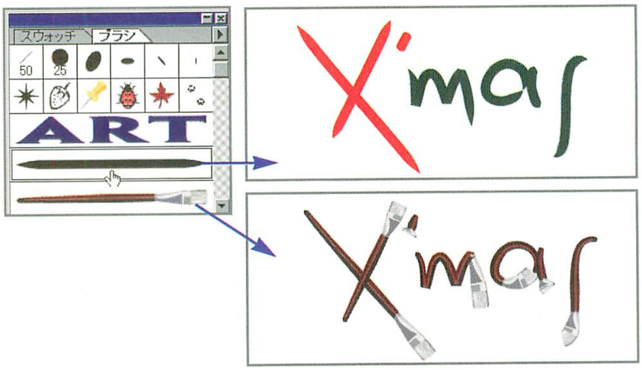
4 これから「X'mas」と書いてみます。勢いよくドラッグして書いてみましょう。



5 うまくいかないときは、Ctrlキー＋Zで元の状態に戻って、もう一度書き直してください。



6 選択ツールで「X'」の文字だけ選択して、色を変えてみましょう。色は塗りではなく線の色です。カラーパレットなどで他の色に変更してください。

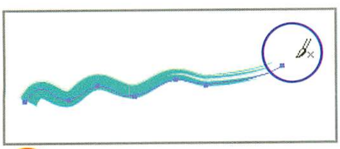


7 他のブラシに変更することも可能です。選択ツールで変更したい部分を選択して、ブラシパレットから他のブラシをクリックして選ぶだけで変わります。

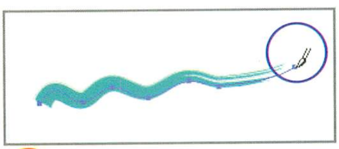
☞ヒント!!

筆先のマークに注目

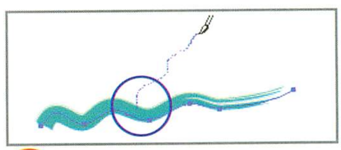
ブラシツールのポインタは、ペンツールと同様に、状況に合わせて表示が変わります。線をつなぐ場合には、線のどこからでもドラッグできます（端のポイントからでなくてもかまいません）。別な線を作りたいときは、ブラシの先端に×マークが表示されている状態で書き始めてください。近くに選択状態のポイントなどがあると、×マークにならないことがあります。そのときは、選択ツールで一旦、選択解除をしてください。



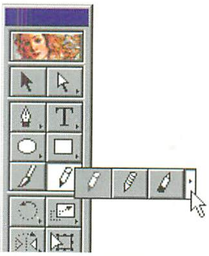
1 次に新たな線を作る場合は、ブラシの先が×になっている状態で書き始めるようにしてください。



2 ×が出ていない状態で、ドラッグすると、線がつながってしまいます。

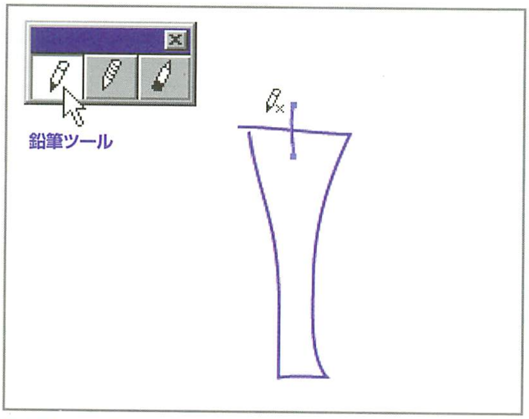


3 線が選ばれている状態で、その線上からドラッグし始めると、線を修正することができます。

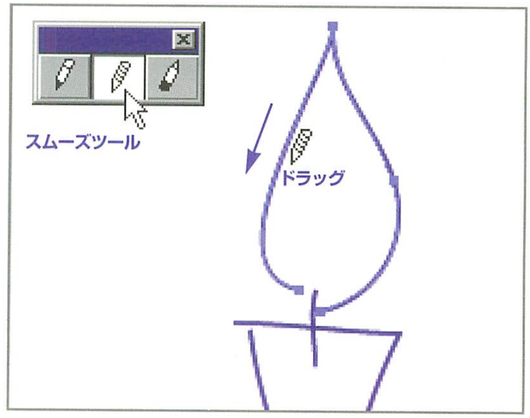


新しい鉛筆ツールを使う

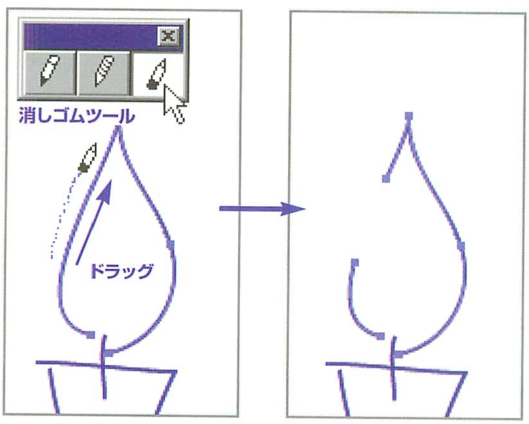
8.0で大幅にバージョンアップした鉛筆ツールは、特に初心者にはうれしいツールにです。修正がとっても楽になりました。スムーズツールと消しゴムツールは8.0からの新しいツールで、鉛筆ツールを手助けしてくれます。それでは、これらのツールを切り離してから練習を始めましょう。



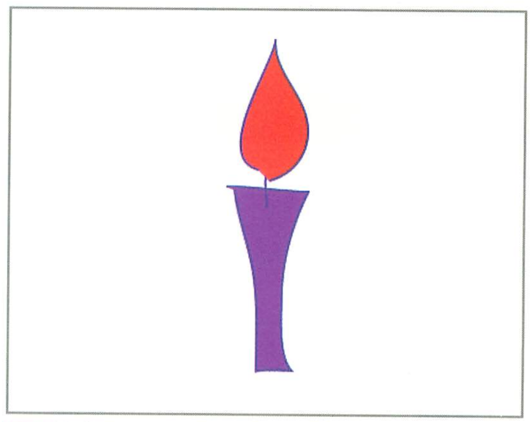
1 ツールボックスから鉛筆ツールを切り離しておきましょう。まず鉛筆ツールを選択し、ろうそくを描いてみます。ブラシツールと同じで、別の線を作るときは、鉛筆のわきに×が表示されている状態で描いてください。



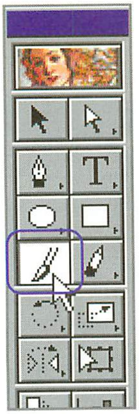
2 芯や炎も描いてみます。部分的に滑らかにしたいところがあれば、スムーズツールに切り替えて、ライン上をドラッグします。



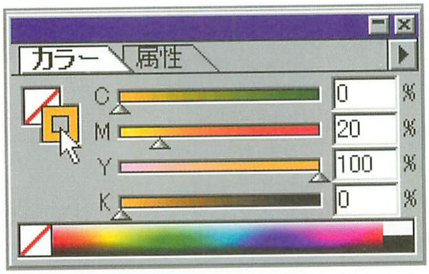
3 部分的に消したいときは、消しゴムツールを使ってください。消しゴムツールで消したいところをひとこすりします。ライン上でなく、ラインのそばをドラッグしても、ちゃんと消してくれます。



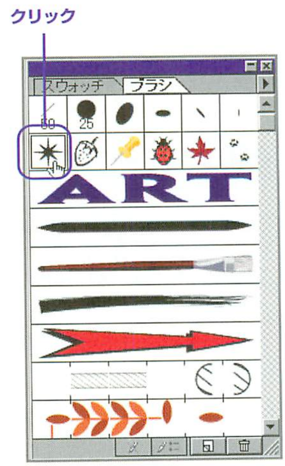
4 適当な色をつけてください。このあと、ちょっとだけ仕上げをして完成させます。



5 ブラシパレットからブラシツールを選択します。



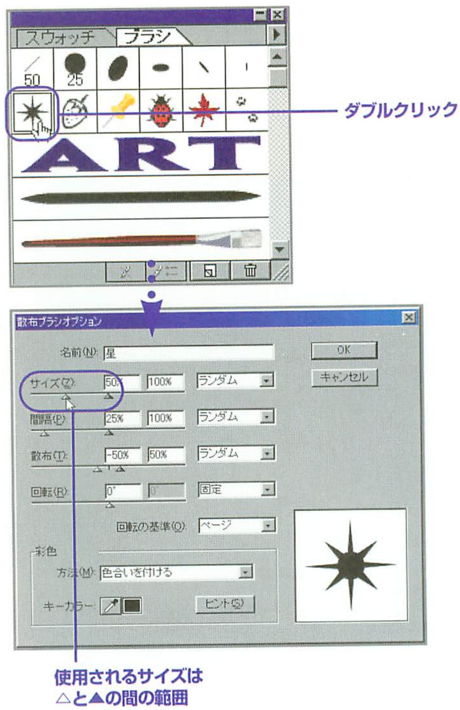
6 塗りを透明にし、線には黄色を指定します。カラーバーの黄色をクリックしてもいいし、「M」と「Y」の欄に図のように数値を入力しても結構です。



7 ブラシパレットから星形のブラシを選びます。

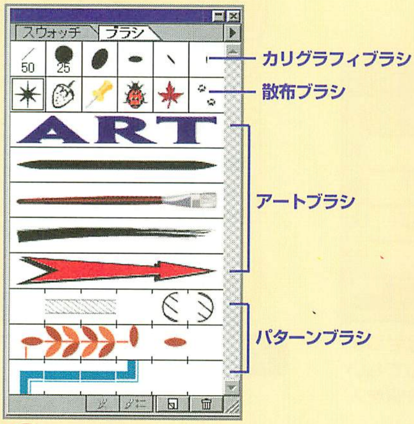


8 適当にドラッグしてください。星がきらきらとばらまかれます。星が大きすぎるなど問題があれば、ブラシパレットの星をダブルクリックして、ブラシオプションパレットを出してください。そこでサイズなどの変更ができます。背景に色をつけたら完成です。保存をしておきましょう。

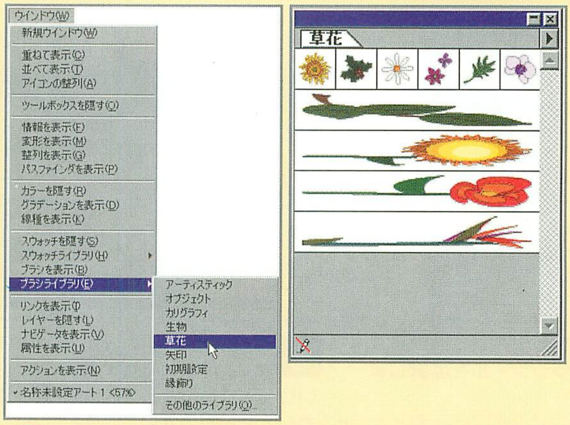


ちょっとコラム　4種類のブラシ

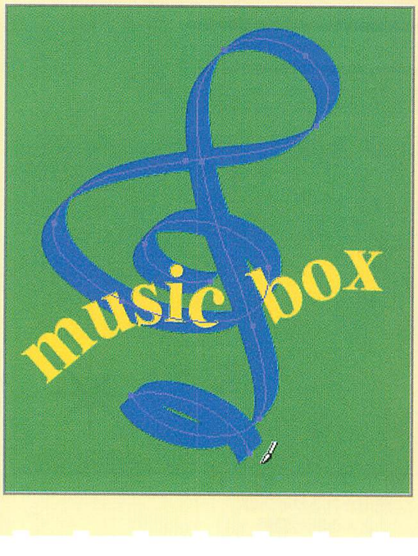
ブラシツールには、カリグラフィブラシ、散布ブラシ、アートブラシ、パターンブラシの4つのタイプが用意されています。それぞれ違った表現をします。

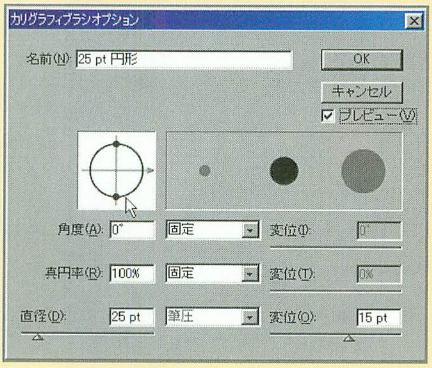


1　ブラシパレットではタイプごとに並んでいます。各ブラシをダブルクリックすると、オプションパレットが出てきて、さまざまな設定を行えます。



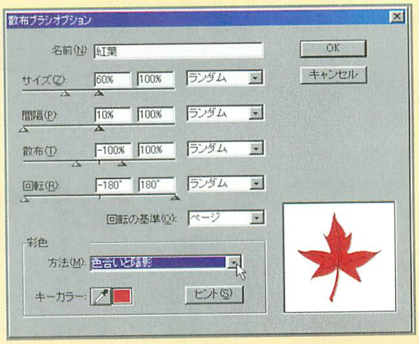
2　そのほかにも、「ウインドウ」メニューの「ブラシライブラリ」にはいろいろなブラシが入っています。これらはタブ形式のパレットになっていて、複数を出しておくことも可能です。



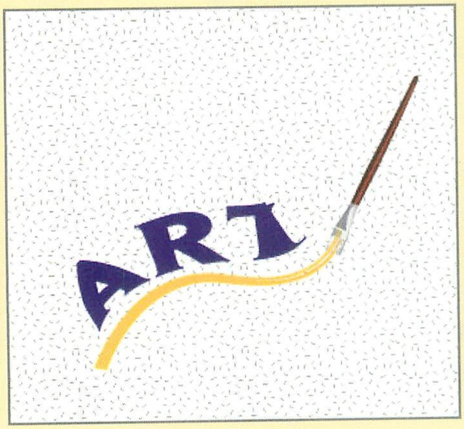


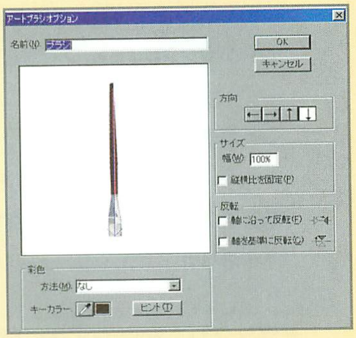
3　カリグラフィブラシは、平ペンで描いたような効果を出してくれます。ペン先の角度や大きさは、オプションパレットで設定できます。



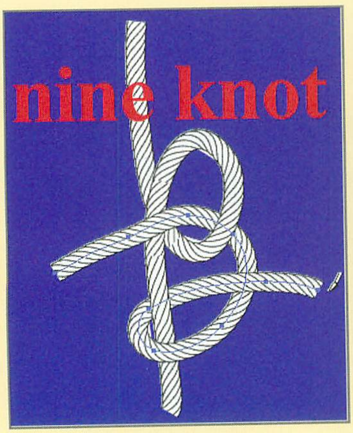


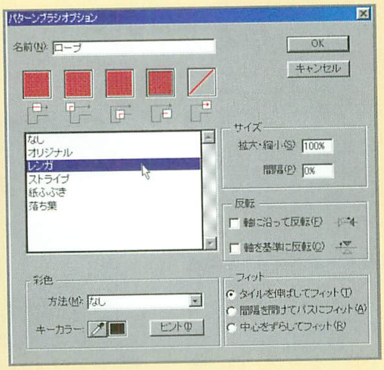
4 散布ブラシは、ドラッグしたラインに沿ってイラストを散布させるブラシです。オプションパレットで散布の間隔やイラストのサイズを設定できます。





5 アートブラシは、パスに沿ってイラストを変形させるブラシです。手描き風の勢いのあるストロークなども表現できます。





6 パターンブラシは、ラインをパターンで描画するものです。端のパターン処理などを、オプションパレットで設定します。

1 WEEK MASTER
3rd DAY !!!
Wednesday

STEP 3 色について

スウォッチパレットとカラーパレットの使い方

色関連のパレットは、スウォッチパレットとカラーパレットです。もう何度か使ってきましたが、ここで、さまざまな利用方法をまとめて紹介します。特別付録CD-ROM内の「水曜日」フォルダの「水曜日練習用（色）」を開いて練習してください。

(1) スウォッチパレットの使い方

名称と機能を確認しておきましょう。

(2) ドラッグ& ドロップで色をつける

手軽な色の設定方法として、ドラッグ&ドロップを紹介します。

(3) カラーパレットの使い方

カラーパレットで自分で色を作る方法を練習します。

(4) スウォッチパレットに登録する

自分で作った色やグラデーションなどは登録して、何度も使うことができます。

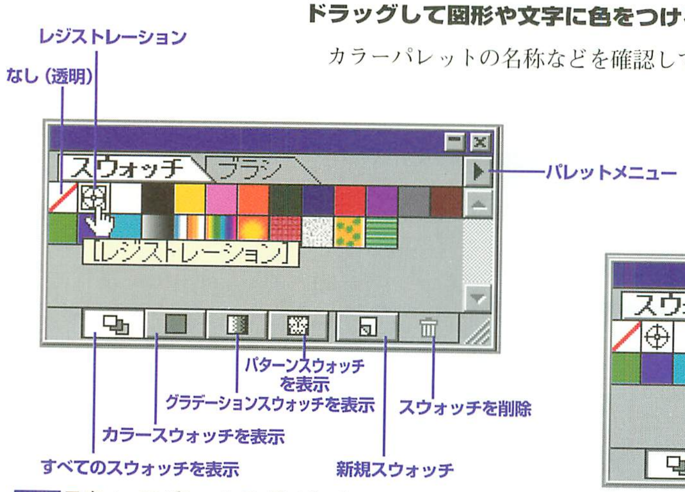
ヒント!!

スウォッチパレットには、「塗り」「線」アイコンがない

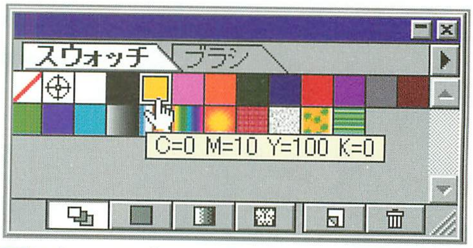
カラーパレットは、あらかじめ登録されているカラーやグラデーションをクリックして使います。「塗り」と「線」のアイコンはないので、スウォッチパレットを使うときはまず、ツールボックスの下の「塗り」「線」アイコンのどちらかをクリックして、それから色を選んでください。

ドラッグして図形や文字に色をつける

カラーパレットの名称などを確認しておきましょう。



1 スウォッチパレットの「レジストレーション」は、通常の黒ではなく、CMYKのすべてのときに100%でできる黒です。4色分版を作るとき、すべての版にトンボ（4枚のフィルムを重ねるための印）を表示するときなどに使います。



2 スウォッチパレットのカラーは、選択するときにCMYKの各パーセンテージや、グラデーションやパターンのときは名称が、ヒント表示されます。

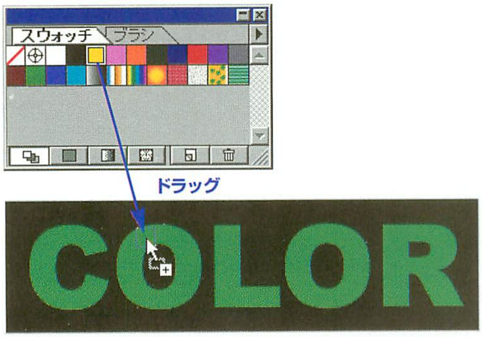
ドラッグして塗りや線の色をつける

手軽な色の設定の方法として、ドラッグ&ドロップがあります。この方法だと、いちいち「塗り」や「線」アイコンを選ぶ必要がないので、慣れると効率的です。スウォッチパレットだけでなく、カラーパレットでも同様の操作ができます。

☞ヒント!!

文字の色の設定

文字がアウトライン（図形化）の状態になっている場合は、1文字単位で色を変えられます。



3 塗りの色を変えてみましょう。ツールボックスで「塗り」が選択されている状態で、スウォッチパレットから色を文字の上にドラッグします（ツールボックスで「線」が選択されている場合は、Shiftキーを押しながらドラッグ）。

☞ヒント!!

Shiftキーは、後から押すこと！

Shiftキーを押してカラーパレット内の色をクリックすると、複数の色を選ぶショートカットになってしまうので、Shiftキーはドラッグしてから押すように。

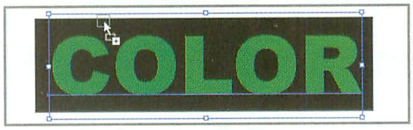


5 今度は線に色をつけてみましょう。スウォッチパレットから色を文字の上に、ドラッグしていく途中でShiftキーを押してください（ツールボックスで「線」が選択されている場合は、色をそのままドラッグ）。

☞ヒント!!

ドラッグ&ドロップの位置

文字以外のところでマウスボタンを離しても、文字が変わることがあります。選択してバウンディングボックスを表示させるとわかりますが、バウンディングボックスの範囲内だと、選択されていない状態でも、文字が反応して色が変わります。



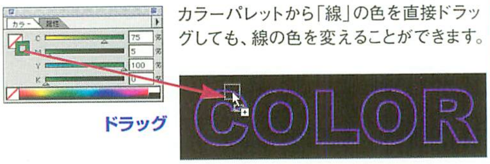


4 文字の塗り色が変わります。

☞ヒント!!

線の色を変える

カラーパレットから「線」の色を直接ドラッグしても、線の色を変えることができます。

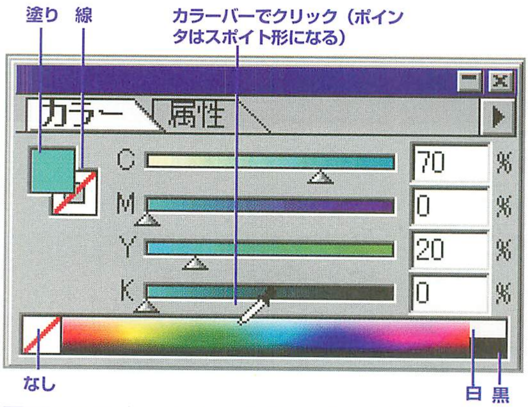




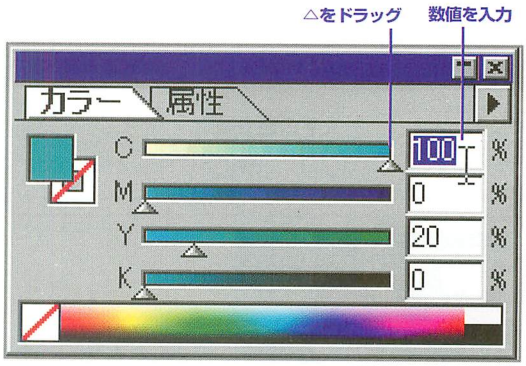
6 これで線だけに色がつきます。確認しやすいように、ここでは塗りの色を透明にしています。

カラーパレットの使い方

カラーパレットの基本的な使い方を確認しておきましょう。



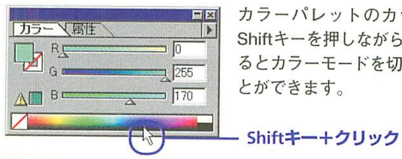
7 カラーパレットでは、まずカラーバーをクリックする方法があります。カラーバーでは、スポイトの先端にある色が選ばれます。また、カラーバーの左は「なし」ボタン、右には黒と白のアイコンが用意されています。



8 または、CMYKの数値入力ボックスに直接数値を入力する方法や、CMYKそれぞれカラーバーの△をドラッグして動かす方法もあります。数値は0～100まで、小数点第2位までの指定が可能です。ただしそんなに細かく設定しても、実際は再現できません。

☞ヒント!!

カラーモード変更のショートカット

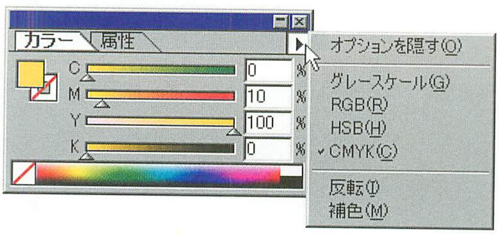


カラーパレットのカラーバーでShiftキーを押しながらクリックするとカラーモードを切り替えることができます。

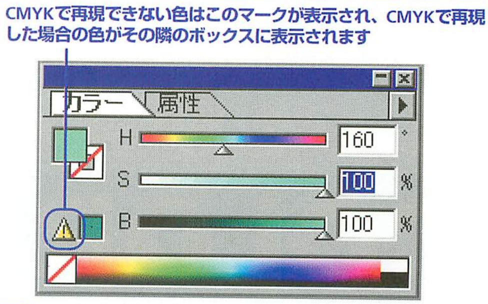
☞ヒント!!

カラーモードを変える意味

印刷物を作るなら色の指定は「CMYK」で行うのが一般的ですが、ホームページやCD-ROMなど、モニタ上で見る画像を作る場合は「RGB」で行います。また、色はそのままで彩度だけを落とす場合などに便利な「HSB」も、組み合わせて使うと便利です。



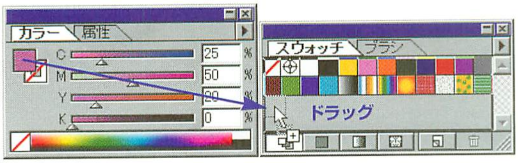
9 パレットの▶をプレスするとパレットメニューが表示されます。「グレースケール」「RGB」「HSB」「CMYK」はカラーモードです。「反転」「補色」は、選択している色の反対色や補色に変換します。



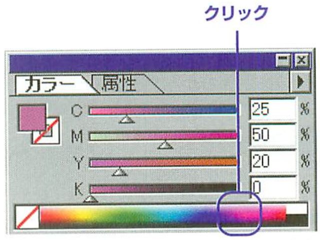
10 「RGB」や「HSB」モードにすると、「CMYK」では表現できない色も選択できます。ただしこれはモニタ上ではきれいに見えますが、印刷することはできません。印刷は原則的に「CMYK」カラーしか再現できません。

スウォッチパレットに登録する

自分で作った色をスウォッチパレットに登録する方法を紹介します。登録すると、その色が何度も必要なときなどに、いちいち色を作らずにすみます。



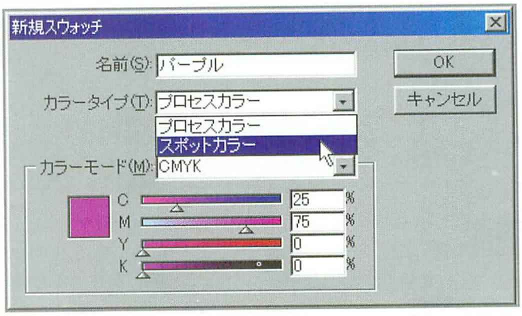
11 カラーパレットで色を作ります。それをスウォッチパレットにドラッグします。スウォッチパレットの最後に追加されます。



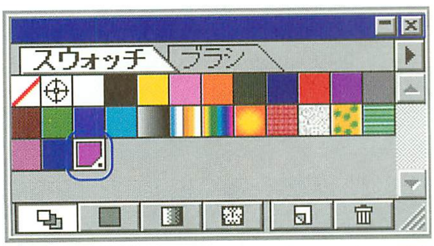
12「新規スウォッチ」アイコンをクリックしても、カラーパレットで選択されている色を登録することができます。



13 また、スウォッチパレットメニューの「新規スウォッチ」を選ぶ方法もあります。この場合は、カラーパレットで最初に色を作っておく必要はありません。



14「新規スウォッチ」ダイアログボックスが出てくるので、ここで、登録する色を作成します。また、カラーの名前でも指定でき、スポットカラー（特色）に指定することも可能です。

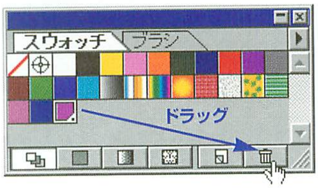


15 スポットカラーに指定すると、「CMYK」と区別するため、スウォッチではこんなふうに表示されます。

☞ヒント!!

スウォッチパレット内の色の削除

登録した色を削除する方法は、2つあります。



▲削除したい色を選択して、ゴミ箱のアイコンをクリックするか、色をゴミ箱アイコンへドラッグすれば、削除できます。

グラデーションを使う

☞ヒント!!

オプション表示

グラデーションパレットメニューから「オプションを表示」を選択します。

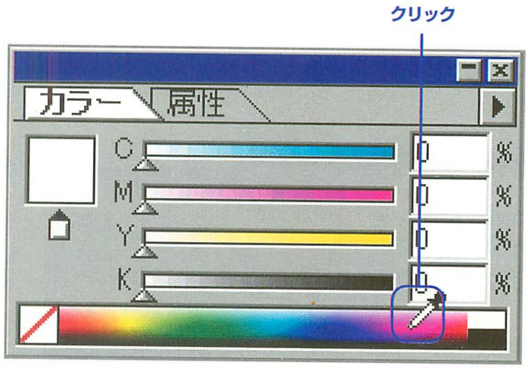


色の説明の最後に、グラデーションの使い方を説明します。グラデーションはスウォッチパレットにも数種類用意されていますが、グラデーションパレットを使えば自分で簡単に作ることができます。また、3色以上のグラデーションを作成することも可能です。そして作ったグラデーションをスウォッチパレットに登録することもできます。

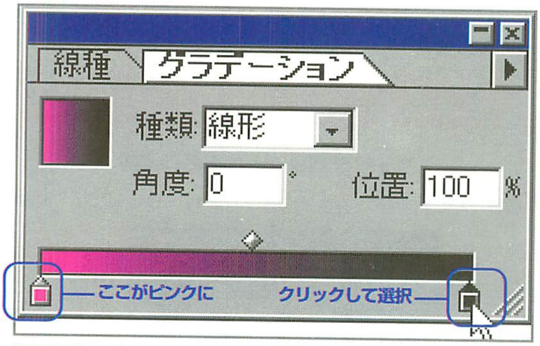
「水曜日練習用（色）」ファイルを使って練習してみましょう。グラデーションパレットはオプションを表示させた状態にしてください。



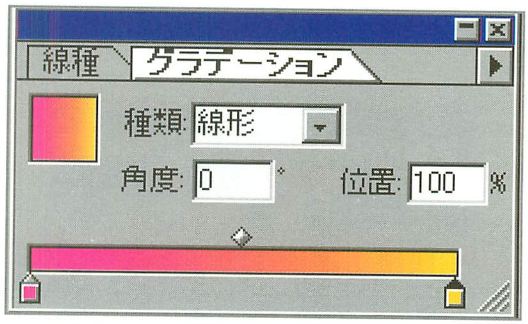
1 グラデーションパレットでは、初期設定だとスライダの左に白、右に黒が表示されています。色を変更するには、どちらかの色をクリックして選択します（△が▲になります）。



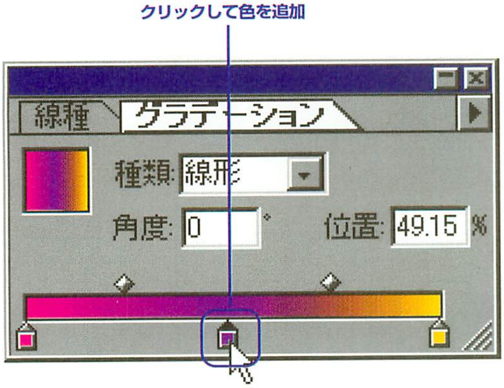
2 カラーパレットのカラーバーから適当な色を選びます。ここではピンクを選んでいます。



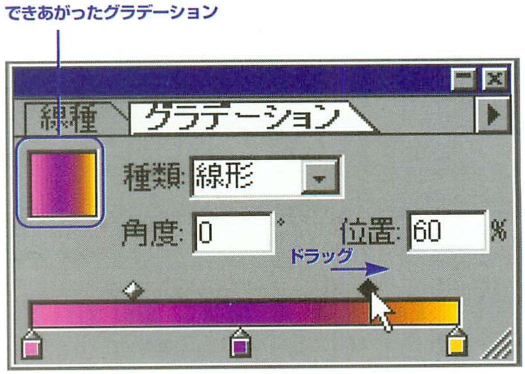
3 グラデーションパレットで選択していた色がピンクに変わります。今度は反対側の色（ここでは黒）をクリックして、同じように色を指定してください。



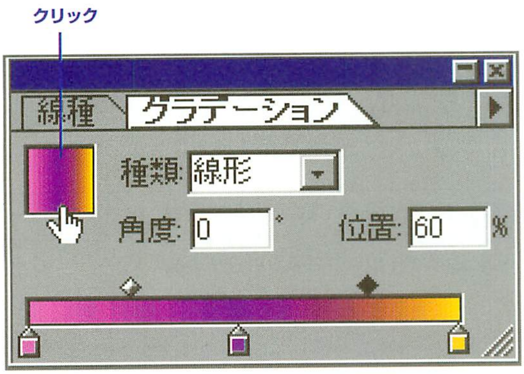
4 ここでは右側を黄色にしました。これで最初とはまったく別のグラデーションになりました。

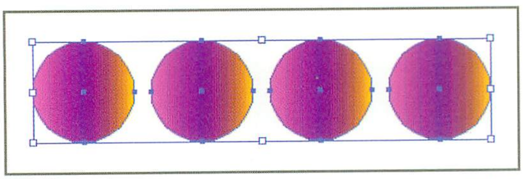


5 最初は2色ですが、3色目を加えることもできます。スライダ上の適当なところでクリックしてください。そして、同様にして色を変えます（ここでは紫色にしています）。3色目の位置を左右にドラッグして動かすことも可能です。

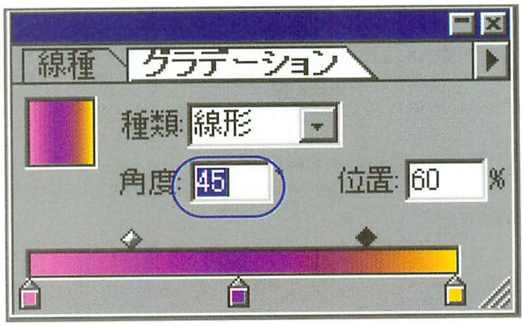


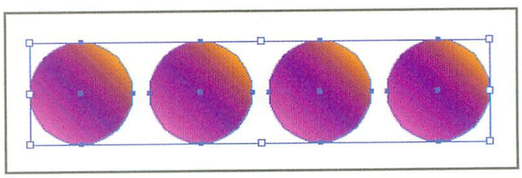
6 スライダ上側の◇は、色の中間位置を示します。選択して（◇が◆になります）、ドラッグしてみましょう。中間位置をずらすことができます。できあがったグラデーションは左上に表示されます。



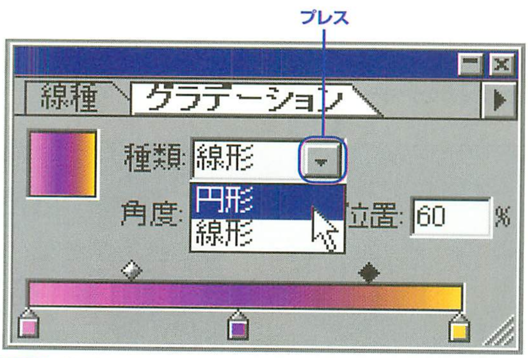


7 練習用のファイルの円を全部選び、作成したグラデーションをクリックします。うまくグラデーションが作れなかった人は、スウォッチパレットに登録してありますので、それをクリックしてください。

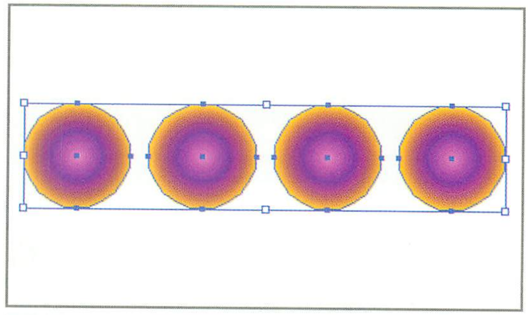




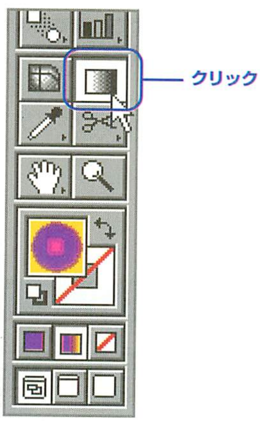
8 円が選択されたままで続けてください。今度はグラデーションパレットの「角度」の数値を変更してみましょう。ここでは「45度」にしています。グラデーションの角度が変わったのがわかりますか。



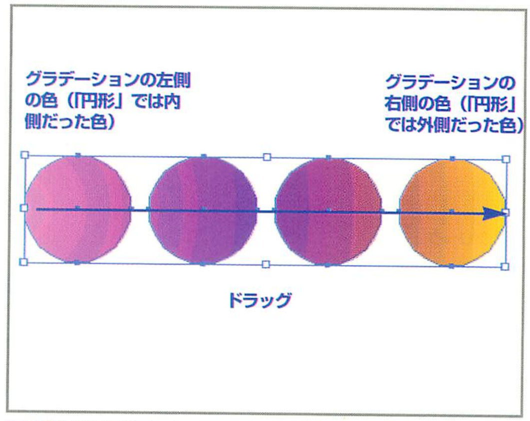
9 グラデーションパレットの「種類」をプレスすると、円形と線形が切り替えられます。「円形」を選んでみましょう。



10 グラデーションが線形から円形になったのがわかりますか。円の1つずつに、円形のグラデーションが適用されています。



11 今度は複数の円全体にグラデーションをかける方法です。ツールボックスのグラデーションツールを使います。



12 円が全部選ばれている状態で、左から右にグラデーションツールでドラッグします。これで、複数の円を1つのグラデーションで塗ることができます。

☞ヒント!!

グラデーションの不要な色を削除する

グラデーションパレットで複数の色を使えることはわかっていただけましたよね。もちろん、不要な色があった場合、それを削除することもできます。その色をグラデーションパレットの外へドラッグして捨ててしまえばいいのです。

